

2020年度 教職員・指導者セミナー 講座一覧

兵庫県立人と自然の博物館

月日	時間	No	講座名	授業等での活用	講師	内容	場所	定員	受講料	備考
7月27日(月)	9:30~12:30	G01	小さな子供の指導者向け 身近な植物観察の仕方	・幼保 ・小理科 (観察)	小館 誓治	深田公園に生えている植物などを使って、身近な植物の観察の仕方を学びます。	実習室	20	¥900	※雨天決行
	9:30~16:30	G02	地理情報システムの使い方	・中高 社会 (地理) ・総合的な学習の時間 ・総合的な探究の時間	三橋 弘宗	フリーで利用できる地理情報システムのソフト(QGIS)を使って様々な地図を表示し、統計情報や主題図を重ねることで、地域の特徴を地図として表現する方法を演習します。令和4年度から導入される「地理総合」のほか、まちづくりや生物、様々な総合学習における活用方法を具体的な事例をもとに解説します。	大セミナー室	20	¥1,000	・パソコンの操作経験としては、エクセルやワードでの入力・計算、関数入力ができること。 ・ノートパソコンの持参を歓迎します。OSはWindows 7 以上が好ましいですが、Macでも対応できます。
	13:00~15:30	G03	SDGsや博物館を通じた学習のカタチ～教科横断的視点の教育内容を考える～	・小中高 ・SDGsについて 考えたい方 ・博物館の活用 の仕方について 考えたい方	福本 優 橋本 佳延 県指導主事	「新学習指導要領にも示されている『持続可能な社会の創り手』をどう捉え、どのように子どもたちとともに学んでいくのか」について、講師と受講者が一緒になって考えるセミナーです。 SDGsが掲げられた背景や、その考えを深めるポイントを博物館の活動事例を交えてお伝えするとともに、学校で「持続可能な社会を創る」につながる学習をどのように進めていくのかについて受講者同士で検討するワークショップを実施します。 これからの社会における豊かな暮らしの姿を、子どもたちとともに考える学習のカタチを私たちと一緒に考えてみませんか。	実習室	15	¥700	
7月28日(火)	9:30~12:30	G04	野外で安全に昆虫を調べてみよう	・小中高 ・総合的な学習の時間 ・総合的な探究の時間	中濱 直之	野外活動中の安全管理のほか、近所で見られる身近な昆虫の採集方法、同定方法、調査方法について、講義と実習で解説します。	実習室	20	¥1,000	・服装・持ち物: 野外活動出来る服装(長袖・長ズボン)、帽子、タオル、虫除けスプレー。 ※野外観察は小雨決行
	13:30~15:30	G05	小中学校の授業に向けた堆積学実習～モノの溜まり方～	・小理科 ・大地のつくり、 丹波竜に関する 学習	久保田 克博	小学校6年の「大地のつくり」をはじめとする地学分野について、学校でも簡単に実施できる実習や指導に生かす術をお伝えします。 丹波地域から発見された恐竜タンパティタニスやその他の化石、発掘現場の様子なども話をします。	大セミナー室	20	¥700	・砂などを用いた教材作成を行うので、汚れても良い格好で来てください。 ・化石発掘体験を館内自由見学に変更
	13:30~16:30	G06	外来種問題を正しく理解し、教えるためのポイント	・外来種について 学びたい方 ・小中高 理科 (生物環境)	太田 英利	子どもたちは毎日のように学校や地域で外来性の生き物と接します。外来種の増加は生物多様性低下、生態系変質の主要因のひとつであるため、最近ではテレビなどのメディアでも、しばしば外来種が「悪い生き物」として取り上げられます。しかしなぜ外来種が問題なのか、我々はその影響を軽減し問題を解決するために、具体的にどのようなことに気をつければよいのかについては、踏み込んだ報道や解説は多くありません。外来種の問題を子どもたちに正しく伝えるために、教師が知っておくべき事実、持っておくべき考え方は何なのでしょう。 本講座では外来種関連の指導を行う際のポイントを、具体的に紹介します。	中セミナー室	20	¥700	※野外観察は小雨決行
	13:30~16:30	G07	デンデンムシとダンゴムシ	・幼保 ・小生活科、理科	鈴木 武	兵庫県の代表的なデンデンムシとダンゴムシの観察を通して、特徴や飼育方法などを学びます。	実習室	15	¥1,000	・野外観察(深田公園)も行います。

2020年度 教職員・指導者セミナー 講座一覧

兵庫県立人と自然の博物館

月日	時間	No	講座名	授業等での活用	講師	内容	場所	定員	受講料	備考
7月29日(水)	9:30~12:30	G09	森の土の基礎を学ぶ	・小中 理科	小舘 誓治	身近な森の土壌を対象に、その性質や調べ方を公園や校庭などの土壌と比較しながら、講義と野外での実習を通じて学びます。	実習室	10	¥900	・野外で活動がしやすく汚れてもよい服装等(長袖、帽子、運動靴、軍手など)でご参加ください。またタオルや水筒などをご持参のうえ、虫よけ対策をお願いします。 ※雨天決行
	13:30~16:30	G10	火山灰を調べる	・小中高 理科(地層・火山)	加藤 茂弘	火山噴火の仕組みを学びます。また、教科書に登場する始良火山灰や、兵庫県北部の神鍋火山から噴出したスコリアなどを材料として、爆発的噴火で火山周囲に降り積もる火山灰やスコリアを造る鉱物や火山ガラスを観察します。	実習室	10	¥1,000	・受講料には冊子テキスト代を含みます。始良火山灰や神鍋スコリアの試料(少量)は持ち帰ることができます。
7月30日(木)	9:30~12:30	G11	石ころから学ぼう	・小中高 理科(岩石・化石)	古谷 裕(元ひとはく研究員) 県指導主事	当館研究員として在籍していた古谷研究員が行う講座です。受講者が学校の近くで拾ってきた石ころなどを使用して、石ころ標本セットを作成します。さらに、加古川下流部で採集された石ころから、ルーペで化石を探して写真撮影をしたり、放散虫化石拡大模型のレプリカを作ったりします。身近に転がる石ころは太古の地球からのメッセージです。石ころに潜む地球の歴史の一コマを解き明かしてみましよう。	大セミナー室	15	¥1,000	・受講される方は、色々な種類の石ころを10~20個程度、学校周辺で拾ってご持参ください。つるつるのチャートがあればそれも含めてください。
	9:30~12:30	G12	動物進化の物語~進化を扱う授業の工夫~	・動物の進化について学びたい方 ・中高 理科	松島 修(地域研究員)	一昨年まで中学校の理科教員をしていたひとはく地域研究員が、実践を通して開発した教育ツールを紹介し、系統樹を時代ごとに切り分け、それぞれの時代でどのような動物が進化したのか、わかりやすく伝える工夫がしてあります。	実習室	20	¥700	・マーカーペンまたは色鉛筆(5色以上)をお持ちください。 ・中学校・高校の教員を対象とされていますが、小学校教員の方でも動物の多様性を理解するのに適した内容です。
	13:30~16:30	G14	外来種問題の伝え方を考えるー外来種大国となった日本、ヒアリ「定着」の危機の中で	・幼保 小中高 ・安全主任 ・外来種に対する危機管理等に関心のある方	橋本 佳明	神戸港で国内初のヒアリ侵入が確認されて以降、日本各地で30件以上のヒアリ侵入が確認されました。特定外来生物ヒアリが、今後、日本に定着を果たすのではないかと不安が高まるばかりです。本講義では、ヒアリから学ぶことで、外来種問題や、どのようにして外来種から私たちの暮らしや日本の自然を守れば良いのかを探ります。	実習室	20	¥700	
7月31日(金)	9:30~12:30	G15	川の水生昆虫調べと授業への活用	・小中高 理科(昆虫)	三橋 弘宗	身近な川に生息している水生昆虫を野外で採集し、採った生物を博物館に持ち帰り、じっくりと顕微鏡をつかって観察および名前調べを学びます。採集から名前調べを時間をかけて行うことで、水生昆虫について大まかな特徴や調べ方のコツをつかむことができます。この結果をもとに、授業で川を題材として活用する方法を現地・室内で解説します。☑	JR道場駅 実習室	20	¥1,000	JR道場駅集合。現地での採集は神戸市北区道場町(鎌倉峡)で行い、そのあと博物館の実習室にて観察します。 ※雨天決行☑ 持ち物:ぬれてもよい服、ぬれてもよい靴か長靴☑
	9:30~12:30	G16	授業に役立つ星の話	・小中高 理科	NPO法人人と自然の会 田中 慎悟	星、天文の授業について、子ども達が理解しやすい方法を提供します。また天文関係のツールやその活用についても紹介いたします。	大セミナー室	20	¥700	

※ 講座内容や実施場所等が変更または追加となる場合があります。お申し込みの際は、当館HPにてご確認ください。

※ セミナーについての問い合わせは、電話(079-559-2002)またはメール(seminar@hitohaku.jp)にて行っております。